

令和2年度 事業報告について

令和2年度は、“コロナ禍”における環境や行動様式の変化及び生活困窮等の課題が膨らむなど、急速な社会の変化が起こった。これらへ迅速に対応するために、地域の現状のリサーチとして地域活動のアンケート調査及び関係機関への聞き取りを実施するとともに、生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」を通した生活再建支援相談から見えてきた個々の課題から、新たな課題が生じていることがわかった。

この新たな課題へ対応するにあたり、神戸市中央区社会福祉協議会（以下「本会」という。）事業計画に沿って、厚生労働省が掲げている「地域共生社会」の実現に向けた取り組み及び国際目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」を共有し、生活困窮への対応、地域住民の健康・福祉のための支援及び働きがいの創造を柱とした。そして、本会の事務局組織が「縦割り」とならないよう、横断的に役割・機能を発揮できる総合力を活かしながら、“アフターコロナ”を視野に入れた暮らしやすい地域づくりのための取り組みを進めた。

善意銀行においては、コロナ禍における子どもたち及び子育て世帯への支援のための自主財源を募り、その浄財を主旨に沿って有効に活用して、課題解決のための新しい事業展開を行った。

高齢者福祉においては、外出を控えて孤立しがちな方々へのアプローチを多角的に行い、オンラインツールの活用及び飲食を伴わない新たなつどいの場の創出を試み、令和3年度も継続して行う体制を整えた。

これらの取り組みにおいては、これまでつながりのなかつた多様な機関・団体・企業等との連携を重視したことにより、新たなネットワーク構築につなげることができた。

また、地域福祉活動推進計画 2016－2020 の最終年度としての成果及び課題の検証を行い、それをふまえた 2021－2026 計画策定に取り組んだ。策定の過程においては、本会職員の育成及びスキルアップにつながるような検討を重ねた。

I つながり、支え合えるまちづくりの推進

1. 地域福祉事業

既存の制度や支援体制では対応が困難な福祉課題を抱えていたり、複合した福祉課題があつたりする方が地域の中で孤立してしまわないよう、地域の方々や専門機関等とのネットワークを構築するなどの支援のしくみづくりを、地域福祉ネットワークを中心として本会各職員が連携し、コロナ禍における地域支援のあり方及びその方策について検討・共有しながら、中央区社協の総合力で新たな地域課題への対応をすすめた。

(1) コロナ禍での地域活動に関するヒアリング及び勉強会の実施 【拡充】

① 地域活動に関するヒアリング及びアンケート調査

ア 実施期間 令和2年6月4日～令和2年6月23日

イ 対 象 19地区民生委員児童委員協議会

16地区のふれあいのまちづくり協議会

② オンラインツールの使い方勉強会

アンケート調査の結果からオンラインの活用に関するニーズを把握し、第2回小地域支え合い連絡会において「オンラインツールの使い方勉強会」((8)参照)を実施した。

(2) くらし支援窓口との連携による生活困窮者への支援 【拡充】

これまでの生活困窮者支援に加えて、生活福祉資金「新型コロナウィルス特例貸付」における生活再建支援相談において、必要に応じてくらし支援窓口との連携を図ったり、食支援を行ったりした。また、様々な生活課題や地域における福祉課題の解決・支援に向けて、地域住民組織と関係機関のネットワークにより地域での支え合いのしくみづくりを行った。

① くらし支援窓口との連携 120回

個別ケースの相談について、早い段階でくらし支援窓口とともに支援会議を開催し、課題解決にむけてのネットワークを構築しながらの支援を実施した。

② 地域福祉ネットワーク会議の開催 10回

ア 東川崎地区：外国にルーツをもつ世帯への支援

イ 橋 地区：災害時対応について

ウ 下山手地区：課題のある高齢者への支援

③ 住民が抱える対応困難な生活課題への支援 受付件数 63 件

【事例 1】定時制高校 3 年、1 年の兄弟のいる父子家庭への支援

スクールソーシャルワーカーから相談があった定時制高校 3 年と 1 年の兄弟。小中学校時は不登校。定時制高校入学後はアルバイトをしながらまじめに学習しているが、通学定期を購入するお金がなく、1 時間以上かけて歩いて通学しており、授業料も払えていなかった。父親は日雇い就労しているが、制度への手続き事務を行う上での困難さがあり児童扶養手当等の受給していなかったため、世帯の金銭状況の確認をすることから支援が始まった。中央区役所生活支援課及びこども福祉係等と連携し、児童扶養手当、ひとり親家庭の医療費助成及びひとり親世帯特別給付金の申請等の支援を行い、利用していない制度につないだ。今後は、兄弟が自分自身で金銭管理や生活管理ができるよう、学校とも連携しながら伴走型の自立支援を継続していく。

【事例 2】ポートアイランドから六甲アイランドの会社まで徒歩で通勤の 40 代女性への支援

友人から中央区役所管理係に相談が入り、本会へ相談のあった 40 代の女性。友人は、女性は給与を誰かにお金を振り込んでいるようで、支給後すぐにお金がなくなっている。誰かに無心されているのではないか、また、発達障害等により金銭管理ができていないのではないかと心配している。友人の同行により女性に対面による聞きとりを行い、滞納先との交渉及びお金の使い道の優先順位整理を支援すると、自分がすべきことを確認できるようになった。20 代で父母を亡くし、何もわからないまま一人でマンションに住み、様々なことが整理できないまま現在に至っていたと推察されるが、頼れる友人の存在に支えられていることも再認識できたようである。今後も、医療機関での受診及び自立支援医療につなげることを視野に入れた継続対応をしていく。

【事例 3】新型コロナウィルス感染拡大の影響で父親が解雇された 5 人家族への支援

飲食店で調理の仕事をしながら、高校 3 年の双子の息子を含む 5 人家族を養っていたが、新型コロナウィルス感染拡大の影響で解雇となった男性。相談来会時には所持金 5,000 円となっていた。生活福祉資金「新型コロナウィルス特例貸付」緊急小口資金の申し込みをしたが、送金までの 7~10 日間の食べ盛りの 10 代の息子 3 人と妻との 5 人が生活を維持することのできる食料の支援として、善意銀行よりお米等 1 週間分の食糧を支援した。加えて、就労に向けてくらし支援窓口の就労支援事業につないだところ、「新型コロナウィルス特例貸付」総合支援資金を利用しながら介護施設への就労につながり、息子 2 人が令和 3 年 3 月、無事高校を卒業し、就職することとなった。

(3) 外国にルーツを持つ世帯への支援（地域交流）【拡充】

　　外国にルーツをもつ世帯への支援等を、様々な機関が連携して取り組むきっかけづくりをした。

① 「やさしい日本語」勉強会

　　東川崎地域の中で「やさしい日本語」勉強会を開催し、地域・学校・学習支援の実施団体が連携して支援していくきっかけとした。

ア 日 時 令和2年11月27日（金）16：00～17：30 「やさしい日本語」勉強会
令和2年12月11日（金）16：00～17：00 情報交換会

イ 場 所 東川崎地域福祉センター

ウ 参加者 延べ35名

② 「災害時、外国にルーツを持つ方々はどうする！？」

　　災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を活用し、外国にルーツを持つ方々、地域住民及び外国にルーツを持つ方の支援者が災害時をシミュレーションし、「災害」を視点とした外国にルーツを持つ方々の課題に気づく研修会を開催した。

ア 日 時 令和3年3月6日（土）13：45～16：00

イ 場 所 オンライン研修会（zoomミーティング）

　　配信場所：本会事務所及び中央区役所会議室

ウ 参加者 29名

　　※外国にルーツをもつ方7名、地域の方12名、支援者等10名

(4) 東日本大震災・熊本地震支援「拡大版いちはらバザール」

　　「いちはらバザール」の10年及び「拡大版いちはらバザール」の事業の区切りを記念し、被災地からのメッセージ等を紹介した動画及びこれまでのあゆみを紹介するリーフレットを作成した。10年間で築かれた障害事業所と地域のつながりは、日常の地域福祉活動や災害時に向けた連携のためのネットワークとなった。

(5) 社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット中央）の運営支援 【拡充】

① 区社協事業「こども×笑顔 地域まるごとプロジェクト」キッズボランティア活動の提案と活動支援

② 小地域支え合い連絡会でのオンラインツール勉強会における、講師サポート活動の提案と地域住民との交流支援

③ 組織運営に係る会議や研修会の企画・開催

ア 総会（書面決議） 1回

イ 役員会 2回

ウ リーダー会 1回

エ 実務者会（研修会・グループ活動）	3回
オ 実務者自主研修会	2回
カ その他（募金の協力）	

（6）福祉的な課題等のある方への「しごと」の場の提供と支援者ネットワークづくり

【拡充】

就労準備支援を実施している事業所や支援者等と連携しながら、福祉的な課題等により地域との関わりが少なく、就労することが難しい方、何らかの役割を担うことが苦手な方を対象に、やりがいや生きがいを感じられる居場所としての「しごと」場（名称：あおい製作所）を提供した。

新型コロナウィルス感染拡大による緊急事態宣言発令の期間中は開催を見合わせたが、再開までの間に参加者より、「まだお休みですか」という問い合わせがあり、あおい製作所で「しごと」をすることを、心待ちにしている方がおられることを知るとともに、安心・安全な居場所として必要な場になっていることを再認識した。

また、支援者のネットワークづくりにおいては、ボランティアコーディネーターと連携してボランティア講座の開催及び継続参加支援者が支援の仕方を話し合う等、主体的な活動ができるよう工夫した。

① 開催回数 35回（内出張開催17回）

② 参加者数 延べ154人

※1回あたり平均10人程度（出張開催を省く）

③ ボランティア参加人数 延べ33人

（7）中央区支え合いミーティング

新型コロナウィルス感染症流行下における地域の支え合い活動等の情報交換を通して、区内の団体の新たな連携のきっかけ作りを行うとともに、新しい生活様式での支え合いのあり方について考える場とする。

① 開催日 令和3年2月13日（土）14:00～16:00

② 場 所 本会場：神戸市勤労会館 7階大ホール
オンライン拠点：コミスタこうべ

③ 内 容

ア 活動実践者の発表

◇講師兼コーディネーター	市民活動センター神戸 実吉 威氏
◇活動発表者	カフェふらっと 大西 雅子氏
	港島学習支援教室 和田 芳榮氏
	居場所青い鳥 浅尾 久子氏

イ 感想共有

- ④ 参加者 36名（Zoomによる参加及びYouTubeによる閲覧者数）
- ⑤ 効果 コロナ禍において交流が困難になった地域活動者や居場所を運営する方の想いや工夫を共有し、意見交換する場となった。

（8）小地域支え合い活動の強化事業 【新規】

① オンラインツールの使い方勉強会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で対面での見守り活動やふれあい給食会がこれまで通り実施できない中、令和2年6月に実施したコロナ禍の地域活動に関するアンケートをもとに、コロナ禍における新たなつながり提案のキックオフとして、オンラインツールを学ぶことができる勉強会を第2回小地域支え合い連絡会で実施した。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンター職員等

イ 講師 神戸電子専門学校 学生、KOBE学生地域貢献スクラム 学生、ひょうごコミュニティ財団 職員

ウ サポーター 高校生（神戸市立葺合高等学校、神戸市立科学技術高等学校、神港学園高等学校）、ほっとかへんネット中央 職員

② SNS活用術養成講座

地域活動やボランティア活動に関する日頃の活動の情報発信や、参加者募集等のツールとしてSNS（Facebook）を通じた効果的な情報発信方法について学ぶと共に、そのような情報発信をサポートしていただけるボランティアを養成する事を目的に、2回講座で開催した。

ア 出席者 地域活動、ボランティア活動をされている方 28名

イ 講師 NPO法人シミンズシーズ マネージャー 小笠雄一郎氏

③ 講師派遣事業

飲食を伴う地域活動等の再開が難しい中、新たな生活様式に合わせた地域活動の再開支援のため、暮らし支援ネット神戸及び第一学院高等学校と連携して講師派遣事業を実施した。

ア 下山手地区 「ステップアップ！スマホ教室」 1月13日、3月24日

下山手地区 「学生とのスマホ交流会」 2月26日、3月10日

- イ 生田地区 「ステップアップ！スマホ教室」 3月3日
- ウ 港島地区 「健康ヨガ教室」 3月1日、3月8日、3月15日

2. 高齢者福祉事業

地域の方々が安心して住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、生活支援コーディネーターを中心として、地域における高齢者の見守り活動の支援や高齢者の生活課題に対応する地域支え合い活動の推進を地域団体の方々やあんしんすこやかセンター等関係機関との連携により行った。

(1) 生活支援体制の整備

地域団体や区内7か所のあんしんすこやかセンター等と連携し、地域で支援を要する人を支え合う地域づくりを行う体制整備を進めた。

① 地域課題解決に向けた協議体機能を有する会議等（実務者会）の開催

- ア テーマ 「つどいの場・ネットワークづくりのためのエンディングノート」
- イ 実施日 令和3年2月19日（金）
- ウ 内容 新たなつどいの場創出のツールとしてのエンディングノートの活用について検討した。

エ 成 果 医療や介護の現場の方からの意見を聞くことができ、地域での活用について検討する会となり、他機関とのつながりもでき、地域団体の実務者からは地域で勉強会を実施し、エンディングノートの活用につなげていきたいという前向きな意見を得た。

② 生活支援・介護予防サポーターへの支援

神戸市の生活支援・介護予防サポーター養成研修を修了した方々を対象に、修了生の相互交流及び活動意欲の向上を目的として支援した。本事業は令和2年度で終了となり、令和3年度からは「KOBE シニア元気ポイント」事業と統合される。

- ア フォローアップ研修 令和3年2月13日（土）
「中央区支え合いミーティング」をフォローアップ研修に位置づけて開催。
修了生で結成したボランティアグループ「青い鳥」がコロナ禍における活動の事例発表を行った。

(2) 高齢者見守り調査の実施

高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、中央区民生委員児童委員協議会と区内あんしんすこやかセンターの協力により、平成31年2月1日から令和2年1月31日までに新たに70歳となった単身世帯及び、新たに75歳以上の高齢者のみ

で構成される世帯、区内への転入等により高齢単身、老々となった世帯に対し見守り必要の有無について郵送調査及び訪問調査を行った。

① 調 査 時 期 郵送調査 令和2年3月～4月
訪問調査 令和2年8月～11月

② 訪問調査対象人数 高齢単身942人、老々300人 計1,242人

(3) 小地域における見守りネットワークの推進

① 小地域支え合い連絡会の開催

あんしんすこやかセンターと連携して各地区民児協単位に年3回開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。第2回は「オンラインツールの使い方勉強会」(再掲)を実施した。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンター職員、区社協職員等
イ 実施回数 19地区民児協 延べ57回

② 災害復興住宅などの見守り連絡会の開催

見守り推進員(SCS=高齢世帯生活援助員)が中心となって開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、復興住宅支援ボランティア、あんしんすこやかセンター職員、シルバーハウジングにおける生活援助員、見守り推進員(高齢世帯生活援助員)、警察等関係機関、区社協職員
イ 場 所 HAT神戸脇の浜、筒井住宅、大倉山高層住宅、ルネシティ脇浜町、清風住宅
ウ 実施回数 5地区 延べ32回

(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業 (資料1 実施状況参照)

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	20 グループ
年間延実施回数	86 回
延ボランティア数	661 名
延参加数	2,157名

(5) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動事業 (資料2 実施状況参照)

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	81 グループ
ボランティア数	342 名
対象者数	735 名

(6) テレフォンサポート事業「お達者コール中央」

本会へ希望登録しているひとりぐらし高齢者へ、ボランティアスタッフが電話をかけてお元気確認を行った。コロナ禍により外出を控えているため、ほとんど会話をしていないという方が多く、例年に比べてボランティアスタッフとの会話時間が長くなっていた。訪問による見守りが難しい現状の中で、有効な見守りツールとなっていた。

新たな事業広報チラシを作成し、令和2年6月に実施したコロナ禍の地域活動に関するヒアリングの際に、地域支援者へ説明した。

ア 実施日時 毎週火・木曜日 10:00 ~ 12:00

内 容	実 績
ボランティアスタッフ数	8 名
対象者数	23 名

(7) コミュニティサポートグループ育成支援事業

災害復興住宅等の高齢化が進む地域において、地域住民が生きがいをもって安心して生活できるよう住民相互の見守りにつながるグループの育成・支援を行うとともに、介護予防の啓発や実践につながる事業を地域支え合い推進員とともに実施の計画だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

(8) つどいの場支援事業 【新規】

地域住民などによって自主的に運営される身近で運営者されており、高齢者の誰もが自由に参加できる「つどいの場」を充実させ、高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりを進めていくための事業を実施した。

内 容	実 績
支援件数	8 件 (内、立ち上げ支援 1 件)
研修会	「SNS 活用術養成講座」(再掲)

3. 子育て支援事業

児童館の運営支援及び管理運営並びに地域の方々や関係機関との協働による地域ぐるみでの子育て支援活動の活性化を推進するとともに、子どもの孤食防止や学習

意欲の向上をねらいとした子どもの居場所としての子ども食堂や学習支援の場の支援を、子育てコーディネーターが中心となって行った。

(1) 児童館の管理運営

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会が管理・運営する児童館（八雲、生田川、神戸諏訪山、清風の4館）と、学童保育コーナー（山の手1コーナー）の管理運営を行った。

※入館者数 62,886／年（資料3 児童館利用状況参照）

(2) 地域の子育て支援

① 子ども子育てサポート事業「にこにこトレイン」

こども家庭支援課、地域子育て応援プラザ中央、地域の子育て支援者等と連携し、幼児と保護者が楽しく集い、交流する場を提供し、既存の子育てサークルの活性化を図った。

ア 回 数 5回

イ 対象者 幼児と保護者 延べ115名（大人59名、乳幼児56名）

ウ 会 場 地域福祉センターなど

（雲中・神戸諏訪山・小野柄・北野・宮本 各1回）

② 子育てコミュニティ育成事業

地域での子育て支援を進めるため、主任児童委員等が中心となり子育てコミュニティ推進協議会を設け、児童館でのイベント実施や日曜開放に取り組んだ。

(3) こどもの居場所づくり事業への支援

こどもの居場所開催希望団体等への立ち上げ相談支援を行うとともに、情報交換会の開催等の運営支援を行った。また、神戸市助成応募団体審査時には、運営団体及び開催予定地域の状況確認を行い、神戸市へ情報提供した。

① こどもの居場所づくり研修会＆交流会 ※兵庫区社協と合同開催

ア 実 施 日 令和2年12月16日（水）

イ 対 象 中央区・兵庫区内で、こどもの居場所づくり事業の実施団体の代表者及び担当者、今後こどもの居場所の立ち上げを検討している方

ウ 内 容 研修会「今だからこそ、安心・安全な居場所のために」
交流会（情報交換会）

エ 講 師 神戸常盤大学 助教 光安 早織 氏

オ 参加人数 10団体 16名

② 中央区こどもの居場所づくり活動助成

助成の実績 助成総額 180,000 円

団体名	実施事業	助成額(円)
生田診療所	こども食堂	50,000
かすがのごはん	こども食堂	50,000
港島地区民生委員児童委員協議会	学習支援	30,000
大慈厚生事業会（たちばな児童館）	学習支援	50,000

(4) 子育て世帯包括支援 【新規】

中央区内での虐待案件が増えている現状をふまえ、こども家庭支援課と連携し、身近な社会資源である児童館を活用した在宅育児家庭への支援を強化した。

① 「ファーストステップ事業」

初めて地域の親子の集い場に行く親子やプレパパ、ママに支援者が同行し、地域との関わりのきっかけづくりの支援を行った。

回	実施日	行き先1	行き先2	参加組数(組)
1	6月15日		清風児童館	1
2	7月13日		生田川児童館	4
3	9月4日	市立神若保育所	旗塚児童館	4
4	10月2日	市立神戸幼稚園	神戸諏訪山児童館	2
5	11月6日	市立あづま幼稚園	なぎさ児童館	4
6	11月20日	市立たちばな保育所	たちばな児童館	5
7	12月7日	幼保連携こども園 ポートピア	港島児童館	2
8	12月14日	市立生田保育所	清風児童館	1
9	3月8日		八雲児童館	1
10	3月15日	幼保連携こども園 友愛幼児園	生田川児童館	2
合計				26

※参加者数：乳幼児と保護者 延べ 52 名（大人 27 名、乳幼児 25 名）

② 「おしゃべりほっとタイム（子育て相談）」

地域の身近な社会資源である児童館において、子育てに関する悩み相談を保健師、助産師、臨床心理士などの専門家が対応し、乳幼児をもつ母親の「育児不安の軽減、孤育をなくすとともに、虐待の早期発見・予防に努めた。

ア 回 数 82回
イ 参加者 子育て中の保護者 延べ 932名 (内、個別相談 延べ 500件)
ウ 会 場 区内 10児童館

③ 「オンラインによる子育て相談」

コロナ禍における新しい生活様式にのっとり、乳幼児親子が児童館へ来館できなくとも、子育て支援事業に参加できるしくみづくりを行った。

ア 回 数 4回 (9月29日・12月24日・2月5日・3月9日)
イ 参加者 子育て中の保護者 延べ7名
ウ 会 場 神戸諏訪山児童館・各家庭
エ 内 容 Web会議ツール「Zoom」を利用したリモート子育て専門相談

(5) 中学生防災教育支援

防災・減災学習の視点から、中学生自身が身近な地域に目を向け、災害発生時の「地域の支援者」として貢献できる力と可能性を内在していることを自覚し、地域の大人とともに安全・安心なまちづくりに参画していく意欲を培うことを目的として実施。

- ① 全体研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- ② 地域研修
- ア 実施日 令和3年1月22日(金)
イ 会 場 神戸市立筒井台中学校
ウ 参加者数 110名(中学生102名・教諭8名)
エ 内 容 災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を活用した防災学習
及び災害備蓄品「愛のミルク」を活用した体験学習

(6) 外国にルーツを持つ児童への支援

学校での勉強に不安を覚える外国にルーツをもつ児童への学習支援及び放課後の居場所となる場の運営支援並びに学習支援の場の新規の立ち上げ支援を行った。

① 学習支援・居場所づくりへの支援

名 称	実施主体	小学校区
はいづ	(社福)イエス団 賀川記念館 NPO法人神戸定住外国人支援センター 吾妻地域福祉ネットワーク会議	中央小学校区
DAIJI メイト	大慈厚生事業会	湊小学校区

② 新規立ち上げの支援

義務教育学校港島学園前期課程校区内での開設調整を行った。

- ア 学校への事業説明及び現状の聞き取り
- イ 実施予定関係者との打合せ
- ウ 港島学園前期課程「ワールドクラス」の見学
- エ 「ワールドクラス」担当教諭との情報交換

4. 障がい者福祉事業

(1) 中央区自立支援協議会への参画

障がい者の自立と社会参加を支援するため、中央区自立支援協議会の活動への参加、協力を行った。

① 販売促進ネットワーク部会への参加

区役所、総合福祉センター等でのチラシによる受注販売を検討

② クリーンボランティアへの参加

コミスタこうべで実施されたクリーンボランティアへの参加

(2) 手話入門講座の開催

※新型コロナウィルス感染症拡大の影響で実施できなかった。

(3) 車いすの貸出

年間取扱い件数 92 件

5. 相談・援助事業の実施

(1) 心配ごと相談所の運営

民生委員が、区民の心配ごと・悩みごとの相談に応じ、助言を行った。

毎月第2火曜日に開催 実施回数 9回

(2) 成年後見制度の利用手続き 中央区相談窓口の開設

成年後見の相談ニーズに応えるため、神戸市社会福祉協議会が実施する無料相談窓口を中央区役所内で開催した。

毎月第4木曜日に開催 実施回数 11回 (※市民後見人による開催は3回)

(3) 生活福祉資金の貸付

これまでの貸付に加えて、令和2年3月25日から開始された「新型コロナウイルス特例貸付」への対応により、相談件数は令和元年度の66倍の8,583件と大幅に増加した。神戸市社会福祉協議会（以下、「神戸市社協」という。）の調整による派遣職員により相談・受付の増員を行い、新型コロナウイルス感染対策を行った上で業務にあたった。また、申請受付期間延長を繰り返す毎に、相談・受付場所及び職員の体制整備等、本会事務局職員全員体制で対応するとともに、くらし支援窓口との情報共有・連携を密にし、必要に応じて地域福祉ネットワーカーとの協働により世帯支援を行った。（貸付状況詳細はP14）

繁忙期には、神戸市社協からの応援職員派遣の協力を得るとともに、中央区役所会議室を優先利用させてもらった。

① 生活福祉資金（※「新型コロナウイルス特例貸付」以外）

低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯の経済的自立のため、教育支援資金や生活必需品購入等の貸付を行った。

ア 電話・来所延べ相談件数 1,379件

イ 教育支援資金説明会の実施

目的：高校進学にあたり必要な資金が捻出できない家庭に対し、進路指導段階で迅速な対応ができるようとする。

対象：中央区内公立中学校教諭（各校1名ずつ）

日時：令和2年8月26日（水）16:00～17:00

会場：中央区役所7階会議室

資金種類	貸付決定件数(件)	貸付決定金額(円)
教育支援資金	43	18,174,000
福祉資金	3	797,000
緊急小口資金	11	778,000
つなぎ資金	0	0
総合支援資金	0	0
計	57	19,749,000

② 生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」【新規】

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休業や失業等により収入の減少等があり、緊急かつ一時的な生活維持のための費用を必要とする世帯に、緊急小口資金及び総合支援資金の貸付に関する相談、受付業務を行った。

ア 相談・受付窓口の設置

期 間	場 所
4/ 1～ 4/12	中央区役所 5 階区社協事務局カウンター・区役所 5 階①
4/13 ～ 5/31	中央区役所 4 階大会議室
6/ 1～ 7/31	中央区役所 3 階 B 会議室
8/ 1～12/28	中央区役所 5 階区社協事務局カウンター・区役所 5 階①
1/ 4～ 2/22	中央区役所 5 階区社協事務局カウンター
2/24 ～ 3/31	中央区役所 5 階区社協事務局カウンター・区役所 5 階①

イ 貸付状況

種類	来所相談 (件)	電話相談 (件)	申請受理 (件)	決定件数 (円) ※	貸付決定額 (円) ※
緊急小口	6,134	1,236	3,096	4,534	802,840,000
総合支援	1,207	3,534	1,663	4,026	2,918,110,000
計	7,341	4,770	4,759	8,560	3,720,950,000

※決定件数及び貸付決定額には、神戸市社協コールセンター、ろうきん及び郵便局での受付分等を含む。

II つながり、支え合うこころの醸成

1. ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアの登録・コーディネーション

① ボランティアに関する相談受付

ア 相談・情報提供件数 延べ 1595 件

イ ボランティア共済、助成金情報、ボランティア紹介、活動紹介等

② ボランティアの登録（令和3年3月末現在）

ア 個人登録 233名

イ 団体登録 370団体

③ ニードの受付

ア 件数 個人より28件、団体等より39件 合計67件

イ 内容 病院内介助、学校ボランティア、行事出演、外出支援等

④ 活動ボランティア数 90件（マッチングした数）

【マッチング事例】

「高齢夫婦のペットのトリミングの依頼」

中央区の居宅介護事業所より、長田区にお住まいの夫婦（70代男性・寝たきり、60代女性・知的あり）の2匹の飼い犬の手入れについて相談を受けた。2年程シャンプーやトリミングは一切行われず、毛は伸びて絡まりフェルトのように分厚くなってしまっており、散歩にも行っていない為、爪も伸び身に食い込んでいる状態。夫は寝たきりで妻も腰が悪く、20キロ程ある犬の世話は難しい様子。

動物愛護関係のボランティアグループに問い合わせ、動物専門学校で実習の一環としてボランティア活動として対応する場合があると知り、中央区にある「神戸ブレーメン動物専門学校」へ相談した。先生がボランティア活動に共感し、生徒を募集したところ、6名の学生に活動していただけた事となった。2年も手入れがされていなかったのと併せ、2匹とも高齢犬なので慎重に作業を行ったため、2日間に渡る活動となった。

「今後もこのようなケースがあれば生徒の勉強になるのでご相談ください」と学校側からお話しいただき、新たに学校との繋がりもできた。

(2) ボランティア講座・研修会の開催

① 中央区手話入門講座

※新型コロナウィルス感染症拡大の影響で実施できなかった。

② 傾聴ボランティア養成講座

項目	第1回	第2回
開催日	令和2年8月20日(木)	令和2年8月27日(木)
場所	神戸市勤労会館 多目的ホール	
講師	会話の泉 事務局長 横山 由紀子 氏	
内容	傾聴ボランティアの基礎	○傾聴ボランティアの実践対応 ○あおい製作所の活動について
参加者	22名	29名

③ 子育て応援サポートー養成講座

項目	第1回	第3回
開催日	令和2年10月14日(水)	令和2年11月17日(火)
場所	中央区役所3階A会議室	
講師	NPO 法人親と子のふれあい研究会 福本 良江氏	ア 生田川児童館長 西田 厚子氏 イ 本会登録ボランティア 田野 千歳氏
内容	子育て支援ボランティアの基礎知識	ア 児童館の活動について イ ボランティア体験談
参加者	6名	5名

【第2回】児童館実習：5児童館へ分散して参加

ア たちばな児童館（2名）

- a 開催日 令和2年10月21日(水)
- b 内容 おしゃべりほっとタイムでの託児
- c 担当 館長 大川 晴司氏

イ 二宮児童館（1名）

- a 開催日 令和2年10月27日(火)
- b 内容 おしゃべりほっとタイムでの託児
- c 担当 館長 馬場 一郎氏

ウ 生田川児童館（1名）

- a 開催日 令和2年11月5日(木)
- b 内容 すこやかクラブでの託児
- c 担当 館長 西田 厚子氏

エ なぎさ児童館（1名）

- a 開催日 令和2年11月6日(金)
- b 内容 はじめのいっぽツアーでのツアーガイドボランティア

c 担当 館長 鶴崎 宏氏
 才 八雲児童館（1名）
 a 開催日 令和2年11月13日（金）
 b 内容 おしゃべりほっとタイムでの託児
 c 担当 館長 飯塚 博氏

④ 「やさしい日本語」ボランティア講座

項目	第1回	第2回	第3回
開催日	令和2年10月2日（金）	令和2年10月17日（土）	令和2年10月26日（金）
場所	神戸市勤労会館 403	神戸国際会館 802・803	神戸市勤労会館 308
講師	神戸YWCA学院 福井 武司氏		
内 容	「やさしい日本語」や 非言語的コミュニケーションの重要性（講義）	外国人ボランティアを 招き、交流しながら「や さしい日本語」を使っ たコミュニケーション の実践	やさしい日本語」を 活用したボランティ ア活動の紹介等 (講義)
参加者	29名	22名	22名

⑤ SNS活用術養成講座（再掲）

（3）ボランティア活動の支援と活性化

- ① 中央区ボランティア交流会（Zoomでの開催）
- ア 日 時 令和3年3月13日（土）
 イ 参加者 17名
 ウ 内 容 新型コロナウイルス流行下でのボランティア活動について情報交換

② 中高年男性ボランティア「お助けマン」の例会開催

行事協力や個別ニーズへのボランティアとして活動

例会（6月～12月 7回開催） 参加者 延べ 28名

※令和3年1月より新型コロナウイルス感染拡大防止の為、議題があるときのみ開催した。

（4）福祉教育の推進

- ① 小学生向け防災プログラム
- ア 実施日 令和2年8月6日（木）
 イ 会 場 神戸市立清風児童館
 ウ 参加者数 39名（小学生34名 地域住民など5名）

二 内 容 防災クイズ

(5) 災害ボランティアセンター立上訓練【新規】

- ① 日 時 令和2年3月19日（金） 10：00～12：00
② 場 所 中央区役所、こうべ市民福祉交流センター、神戸市役所
※3つの会場をオンラインで接続し、同時開催
③ 参加者 本会、中央区役所総務課、神戸市社協、神戸市くらし支援課

(6) 「KOB Eシニア元気ポイント」制度の運営への協力 【新規】

- ① 説明会におけるボランティア活動の説明

回	開催日	場 所	参加人数
1	令和2年9月 9日（水）	中央区役所	5名
2	令和2年9月 25日（金）	こうべまちづくり会館	7名
3	令和2年11月 9日（月）	こうべまちづくり会館	3名
4	令和3年1月 22日（金）	センター Plaza 西館	3名
5	令和3年2月 12日（金）	あすてっぷ KOBE	3名

(7) ボランティア活動に対する助成

- ① ひょうごボランタリー基金「県民ボランタリー活動助成」申請の受付
ア エントリー受付 129グループ
イ 交付申請 90グループ
② 神戸市社会福祉協議会ボランティア基金 ボランティアグループ活動助成
交付申請 4グループ

(8) ボランティアルームの運営

- ① 設置場所 旭通1丁目「サンピア」2階にボランティアルームを設置
② 利用件数 40件

(9) 地域団体、ボランティアグループへの備品貸出

令和2年度は貸出実績なし

(10) ボランティア災害共済等の受付

内 容	実 績
兵庫県ボランティア市民活動災害共済加入	356 件 5,392 名
兵庫県ボランティア市民活動災害共済給付金	10 件 213,000 円
兵庫県ボランティア活動等行事用保険加入	74 件 3,316 名

2. 募金活動等助成金の広報・啓発

神戸市中央区共同募金委員会による赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動にお寄せいただいた募金について、中央区の社会福祉団体、社会福祉施設、ボランティアグループ等へ助成することにより、区内の地域福祉の活性化を図った。

(1) 赤い羽根共同募金助成金事業

① 令和2年度 募金実績額 7,398,949 円 (1月～3月の拡大期間実績含む)

※拡大期間募金実績額 816,430 円

ア 外国にルーツを持つ方々への支援	494,736 円
イ コロナ禍での『つながり』への支援	251,694 円
ウ 拡大期間事務費	70,000 円

② 社会福祉団体・施設等への支援 (資料4 配分事業一覧参照)

<令和元年度募金実績に基づく、令和2年度の配分 5,905,609 円>

③ 公募助成の実績 助成総額 938,560 円

Aタイプ	団体名	事業名	配分額(円)
1	関西天使ママサロン	関西天使ママサロン	33,990
	神戸エンジェライト	神戸エンジェライト	
2	神戸市手をつなぐ育成会中央支部 本人学習グループ「てとて」	知的障がい者と共に交流しよう！	75,050
3	神戸市重度心身障害者父母の会 中央支部	体力・知力・介護力アップ(コロナに負けるな)	102,600
4	神戸市中央区聴力言語障害者 福祉協会	中央区に住む聴覚障害者 災害対策事業パート2	23,341
Aタイプ計			234,981

Bタイプ	団体名	事業名	配分額(円)
1	彫刻みがき隊「あのね会」	彫刻作品保全事業	50,000
2	ボランティアグループタカガキ	理容業、理容タカガキ	0
3	兵庫県喰摘障害者福祉協会	発生練習マニュアル(教則本)の作成	50,000
4	ピアサポートグループディンプル	大人の発達障害女性当事者の生きづらさ解消支援事業	48,633
5	神戸救急グループ	神戸救急グループ	50,000

6	神戸真生塾子ども家庭支援センター	フードバスプロジェクト KOBE「mog mog」	40,000
7	中国語点訳グループ四声の会	中国語点訳グループ 四声の会	0
8	HAT 椅子ヨガ会	HAT 椅子ヨガ会	50,000
9	SEE CLUB	SEE CLUB	50,000
10	ふれあいサポート愛	ふれあいサポート愛	50,000
11	Teenagers'Free!Theater (ていーんえいじやーず フリーシアター)	Teenagers'Free!Theater 設立 15 周年記念事業	50,000
12	ひょうごふれあいランニング パトロール活動推進運営委員会	ひょうごふれあい ランニングパトロール	0
13	下山手お茶会グループ	下山手お茶会グループ	41,145
14	公益財団法人 神戸 YWCA	はっぴーさぽーと はっぴーすくーる	50,000
15	宇治川市場商店街連連合会	宇治川音楽祭 2020	50,000
16	第一学院高等学校神戸キャンパス	第一学院高等学校 手作りマスク運動	23,801
17	大人の居場所研究会なりわい会	小さな図書室で心と体を 元気にしよう	50,000
18	中央区保護司会	中学生との浴衣製作体験 をとおした安心安全な 地域づくり交流会	50,000
19	中央区連合婦人会	こども支援 “かもめん マスクを届けよう”	0
		B タイプ計	703,579
		A タイプ・B タイプ合計	938,560

(2) 令和2年度 歳末たすけあい募金運動

① 募金実績

項目	金額(円)
募金実績額	3,674,367
前年度繰越金	2,008,765
配分額	1,988,800
事務費	330,000
次年度繰越金	3,364,332

② 配分内訳

対象	金額(円)
ひとりぐらし高齢者（85歳以上941人）	941,000
重度心身障害児家庭（85人）	425,000
交通遺児家庭（3人）	15,000
障害者福祉団体（3団体）	75,000
ふれあい給食会（17グループ）	492,800
ホームレス等困窮者支援（1団体）	40,000

（3）令和2年度 善意銀行の運営

広く市民や団体から善意の金品の寄付を受け、中央区の福祉増進のため活用した。

新型コロナウイルス感染症の流行下において、影響を受けやすい子どもたちや親子を応援する「地域まるごと応援プロジェクト」を実施し、多くの方から賛同いただき、その浄財を活用して4つの新たな事業を実施した。

① 金銭預託

ア 金銭預託 59件 2,226,112円

(内 地域まるごと応援プロジェクト, 1,943,000)

イ 払出額 987,973円

【 払出内訳 】

項目	払出金額	内容
災害支援	55,020	被災地支援 指定預託分払出 【東日本大震災被災地支援(福島県)】 大熊町ひまわりプロジェクト
	55,019	被災地支援 指定預託分払出 【熊本地震被災地支援】 特定非営利活動法人くまもとLRネット(リバイブくまもと)
こども×笑顔 地域まるごと 応援 プロジェクト	200,000	MU・SU・BI食堂（各50,000円） ・さくらCafé ・はんぶん大人食堂 ・味範家 ・みそらこども食堂
	234,427	青空こどもプロジェクト ・アフタフ・バーベン関西 ・ランスタ神戸 ・すとろべりーじゅむ

	16,977	キッズボランティア ・往復はがき購入 ・必要資材購入
	232,636	こどもカフェテラス ・港島学習支援教室 ・やぐもスタディ ・かすがのごはん ・まなびや DAIJI
多世代・地域交流事業助成金	20,000	・生田川児童館 ・八雲児童館 各 10,000 円
交通遺児助成金	140,000	対象者 3名(小学校卒業祝金 10,000 円、中学入学祝金 10,000、高等学校修学資金 120,000)
火災見舞金	30,000	
生活困窮者支援	3,894	新型コロナウイルスによる生活困窮者支援
福祉育成・援助活動費	0	令和 2 年度「中央区赤い羽根地域づくり助成」の財源について、共同募金で充当できたため善意銀行からの支出なし
計	987, 973	

② 物品預託

- ア 物品預託 18 件 (マスク、レインコート、お菓子、文具等)
イ 物品払出 19 件 (神戸市内児童福祉施設等)

3. 顕 彰 (理事長感謝状の贈呈)

(1) 功績の内容及び対象者 (敬称略)

- ① 金品の寄贈 (4 団体) 北野ふれあいのまちづくり協議会
医療法人社団 アップル歯科
社会医療法人 神鋼記念会
祐村 明

- ② 物品の寄贈 (4 団体) ニッポン印刷株式会社
真如苑 神戸支部
中央区連合婦人会
株式会社ダイエー

③ 社会福祉功労

- 奉仕活動 (8 団体・1 名) 川相 (かわあい) グループ
エーデルワイス

朗読ボランティア「アミュゼ」
ワン☆ピース
下山手お茶会グループ
家族教室グループ
神戸海岸通ハーバーフラツツガーデン
オカリナパンダ
田野 千歳

(2) 贈呈日 令和3年2月13日(土) ※団体及び個人名の読み上げのみ

4. 広報・啓発活動の推進

(1) インターネットホームページ、Facebook の運営

区社協ホームページアドレス：<http://chuou-shakyo.or.jp/>

(2) 広報掲示板「ペチュニアギャラリー」の運営

区役所1階フロア壁面の掲示版に、子育て支援事業や共同募金運動等を広報。

(3) 高齢者向け情報紙「みみより」の発行

年6回、あんしんすこやかセンター（地域支え合い推進員）、中央保健センターと共同発行。ひとりぐらし高齢者等に配布。

(4) 子育て情報紙「ほっと♡ほっと」の発行

こども家庭支援室、地域子育て応援プラザ中央と共同発行。隔月版（年6回）1,800部を発行し、保育園、児童館など子育て関係機関で配布。

(5) 中央区健康福祉フェア「ハートフルフェスタ2020」の開催

※新型コロナウィルス感染症拡大の影響で実施できなかった。

5. 神戸市中央区社会福祉協議会 地域福祉活動推進計画（第2期）の策定

第1期（平成28年～令和2年度）の計画の検証・評価を行い、これからの中区の地域福祉に関する中長期の課題の明確化及び取り組みの重点項目の明確化のため、新たな5ヵ年の計画を策定に向け、検討を行った。

(1) スケジュール

時 期	内 容
令和2年 8月25日～26日	アドバイザーへ計画案の説明と意見聴取
令和2年8月31日	地域福祉活動推進計画（第2期）検討会の開催
令和2年10月5日	中央区社協職員によるワーキング会議の実施
令和2年11月16日	アドバイザーへ計画案の説明と意見聴取
令和2年12月8日	第2回理事会における説明と意見聴取
令和3年1月下旬	アドバイザーへ計画案の説明と意見聴取
令和3年3月中旬	第3回理事会、第2回評議員会における説明 地域福祉活動推進計画（第2期）の策定

(2) アドバイザー

所属・役職名	氏 名
関西大学名誉教授	松原 一郎
神戸市中央区社会福祉協議会理事長	祐村 明
神戸市社会福祉協議会地域支援部長	禰宜田 竜樹

(3) 計画内容

神戸市中央区社会福祉協議会地域福祉活動推進計画（第2期）パンフレット参照

令和2年度事業報告 附属明細書

会議名	開催日	会場	内 容
理事会	2.6.9	区役所 会議室	令和元年度 事業報告 令和元年度 収支決算報告・監査報告 評議員の補充選任候補者（案）及び評議員選任・ 解任委員会の招集 理事補充選任候補者（案）について 定款の変更 令和2年度 定時評議委員会について
	2.12.8	区役所 会議室	地域福祉活動推進計画（第1期）の検討・評価と 地域福祉活動推進計画（第2期）の策定内容
	3.3.23	区役所 会議室 *オンライン 併用	令和2年度 補正予算（案） 令和3年度事業の受託契約 地域福祉活動の推進計画（第2期）の策定 令和3年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案） 令和2年度 第2回評議員会の招集及び決議事項
評議員会	2.6.24	決議の 省略	令和元年度 事業報告 令和元年度 収支決算報告・監査報告 理事の選任（案） 定款の変更
	3.3.23	区役所 会議室 *オンライン 併用	令和2年度 補正予算（案） 令和3年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案） 地域福祉活動推進計画（第2期）の策定
善意銀行 運営委員会	2.6.3	区役所 会議室	令和元年度 歳入歳出決算
	2.12.2	区役所 会議室	令和2年度 歳入歳出中間報告 こども×笑顔 地域まるごと応援プロジェクト 中間報告
	3.3.15	区役所 会議室	令和2年度 歳入歳出中間報告 事業計画（案）及び預託・払出（案）について
監事監査	2.5.26	区役所 会議室	令和元年度 事業報告・決算
評議員選任・ 解任委員会	2.6.10	区役所 会議室	評議員の補充選任
歳末たすけあい 募金配分会議	2.12.8	区役所 会議室	令和2年度 募金実績報告・配分内容（案）

資料 1

令和2年度ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス実施状況

(単位：人)

	団体名	会食実施回数	延参加ボランティア数	延参加高齢者数	参加者合計	平均参加者数	備考
1	吾妻ふれあいお食事会	9	60	165	225	25	
2	楠北ふれあい給食	7	72	208	280	40	
3	雲中あじさい会食会	1	14	26	40	40	
4	ふれあい会食会山手	3	19	73	92	31	
5	上筒井あじさいふれあい会	0	0	0	0	0	
6	清風ふれあい会	0	0	0	0	0	令和2年度解散
7	東川崎ふれあいのまちづくり協議会	3	46	167	213	71	
8	宮本ふれあい会	8	52	155	207	26	
9	小野柄ふれあい給食会	8	30	281	311	39	
10	下山手ふれあい会	3	17	166	183	61	
11	生田川地区ふれあい会	9	84	237	321	36	
12	北野ふれあい会	5	58	82	140	28	
13	春日野ふれあい会	0	0	0	0	0	
14	神戸諏訪山ふれあい会食会	5	20	104	124	25	
15	神戸YWCAわいわいランチ	5	18	46	64	13	
16	若菜ふれあい給食会	0	0	0	0	0	
17	ルネシティふれあい会	7	30	155	185	26	
18	脇の浜高齢者介護支援センター	0	0	0	0	0	令和2年度解散
19	二宮ふれあい給食会	5	26	137	163	33	
20	ソロソロ会	4	28	75	103	26	
21	百寿あゆむ会	0	0	0	0	0	
22	ふれあい会キズナ	4	20	80	100	25	令和2年度立ち上げ
	合計	86	594	2,157	2,751	32	

平均 平均 平均 平均

3.9 27.0 98.0 125.0

資料2

中央区ひとりぐらし高齢者友愛訪問実施状況

令和3年3月末

No	地区名	グループ名	ボランティア数	対象者数	No	地区名	グループ名	ボランティア数	対象者数
1	上筒井	上筒井第1グループ	3	3	43	小野柄	小野柄第1グループ	3	13
2		上筒井第2グループ	3	3	44		小野柄第2グループ	3	7
3		上筒井第3グループ	4	5	45		小野柄第4グループ	4	12
4		上筒井第4グループ	5	5	46		小野柄第6グループ	3	9
5		上筒井第5グループ	3	3	47		小野柄第7グループ	4	9
6		上筒井第6グループ	5	5	48		小野柄第8グループ	4	9
7	雲中	雲中第一グループ	5	7	49		小野柄第9グループ	3	12
8		雲中第三グループ	3	5	50	生田	異人館	3	6
9		雲中第四グループ	5	5	51		北野友愛	4	14
10		雲中第五グループ	5	5	52		山手地区A	5	15
11	宮本	あづま	3	4	53	山手	山手地区友愛B	7	13
12		秋桜	3	6	54		山手地区友愛C	5	23
13		夢	3	7	55	下山手	神戸長寿会	8	19
14		めぐみ友愛グループ	4	12	56		大倉山高層住宅Aグループ	3	15
15		カトレア	3	8	57	楠北	楠二グループ	6	5
16		野菊グループ	3	2	58		楠東第2グループ	5	6
17		銀杏	3	7	59		楠東第3グループ	5	5
18		さつき	3	11	60		楠六自治会第一グループ	6	4
19		メープル	3	7	61		楠六自治会第二グループ	5	3
20		たんぽぽ	3	8	62		楠六自治会第三グループ	5	5
21		ひまわり	3	8	63		橘グループ	5	5
22		ひなげし	3	7	64		楠一南友愛グループ	5	5
23		すみれ	3	6	65		楠三グループ	5	7
24	筒井	ひまわり「友愛」	3	11	66		楠五自治会友愛Aグループ	6	8
25		一粒の種から	3	10	67		楠7・8	5	5
26	八雲	吾妻5吾妻6友愛訪問グループ	5	9	68	楠南	友愛楠一北グループ	5	5
27		ルミナス	5	5	69		多聞通4丁目友愛グループ	5	5
28	HAT 駒の浜	友愛ニューシルバー駒の浜	5	15	70		絆	5	15
29		HAT神戸駒ノ浜県住第一グループ	4	8	71		縁	5	14
30		HAT神戸駒ノ浜県住第二グループ	4	8	72		東川崎7丁目Aグループ	5	6
31		HAT神戸駒ノ浜県住第三グループ	3	6	73		川・相グループ	3	9
32		友愛コスマス	5	15	74		東川崎5丁目グループ	5	13
33		HAT中央	5	15	75		相生グループ	5	10
34		オリーブ	5	15	76		すみれ草	5	29
35		愛好	5	15	77		相生すずらん会	5	12
36		フラツツベアー	5	30	78		なかよしグループ	5	5
37	二宮	二宮町2丁目Aグループ	3	5	79		あじさい	5	11
38		二宮町2丁目Bグループ	3	8	80		やまびこ	5	17
39		千代の会	3	6	81	元栄海	国産友愛会	5	8
40		二宮4丁目友愛グループ	4	7			小計	185	393
41		布引町1.2丁目グループ	3	5			ボランティア数合計	342	
42		なでしこ	3	10			対象者数合計	735	
			小計	157	342				

資料3

単位:人

	生田川 児童館	八雲 児童館	清風 児童館	神戸諏訪山 児童館	山の手 学童保育コーナー	合計
4月	23	651	261	940	825	2,700
5月	20	205	98	468	441	1,232
6月	419	1,072	455	1,638	1,691	5,275
7月	658	1,258	695	1,850	1,684	6,145
8月	846	1,074	911	1,650	1,444	5,925
9月	797	1,354	706	1,991	1,690	6,538
10月	868	1,474	775	2,176	1,858	7,151
11月	573	1,252	608	1,873	1,518	5,824
12月	448	1,247	764	1,883	1,597	5,939
1月	400	906	577	1,516	1,255	4,654
2月	534	1,048	673	1,712	1,309	5,276
3月	662	1,269	842	1,864	1,590	6,227
合計	6,248	12,810	7,365	19,561	16,902	62,886

※新型コロナウィルス感染拡大防止の為、4月1日～6月14日は休館対応
放課後児童クラブのみ実施

資料4

令和2年度 共同募金 配分事業結果報告

令和元年度 募金実績に基づく令和2年度の配分	¥5,905,609
令和2年度までの繰越残高	¥287,254
雑収入	¥1,100
収入合計	¥6,193,963

(単位:円)

赤い羽根共同募金配分金事業			
	団体名	配分内容	配分額
高 齢	各給食団体	ふれあい給食会助成	457,500
	老人クラブ連合会	歩こう会	0
	老人クラブ連合会	ボウリング大会・季節の寄せ植え講習会	90,000
障 害	中央区視覚障害者福祉協会	果実狩り、オセロ大会	27,435
	中央区聴力言語障害者福祉協会	区在住・在職・在学の聽覚障がい者の福祉向上事業	108,000
	神戸市中央区物語言語障害者福祉協会	区に住む聴覚障がい者活動事業	1,210
	重度心身障害者（児）父母の会中央支部	いちご狩り、交流会、御苦労さんプレゼント	108,000
	神戸市手をつなぐ育成会中央支部	日帰りバス旅行、クリスマス会	108,000
児 童	神戸真生塾	納涼大会	90,000
	真生乳児院	クリスマス会	45,000
	中央区子ども会連合会	交流事業、スポーツ大会	30,330
	神戸市少年団野球リーグ中央区委員会	神戸市少年団野球リーグ中央地区事業	75,000
	吾妻地域福祉ネットワーク（はいづく）	外国にルーツをもつ子どもの支援	270,000
課 題	母子生活支援施設 ハーバー大慈	第54回児童キャンプ	0
	神戸市中央区母子福祉たちはな会	日帰り研修旅行	90,000
公 募		赤い羽根地域づくり助成（公募助成） (Aタイプ、Bタイプ)	938,560
そ の 他	中央区保護司会	第70回「社会を明るくする運動」中央区推進事業	180,000
	生田地区更生保護女性会	更生保護支援活動	36,000
	中央区遺族会	日帰り慰安旅行	0
	中央区体育協会	第38回中央区ロードレース大会	330
	中央区社会福祉協議会	外国人支援	107,398
	中央区社会福祉協議会	子どもの居場所づくり支援	0
	中央区社会福祉協議会	子どもの支援のための冊子（ほっとほっと）	0
	中央区社会福祉協議会	次世代育成（福祉学習）	24,297
	中央区社会福祉協議会	災害支援活動	0
	中央区社会福祉協議会	中央区健康福祉フェアハートフルフェスタ	0
	中央区社会福祉協議会	子育て包括支援事業	721,522
	中央区社会福祉協議会	コロナ禍における新たなつどい場の創出	50,000
	中央区民生児童委員協議会	民生委員・児童委員研修	0
	各地区民児協	地区民児協活動助成金等	117,500
	中央区連合婦人会	中央区連合婦人会文化スポーツ育成総合事業	300,000
			3,976,082

A : 収入合計	B : 配分結果	A-B
¥6,193,963	¥3,976,082	2,217,881

(令和3年度への繰越金)